



平成27年11月10日

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社
代表者名 代表取締役社長 崔 元 根
(コード番号 6619 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 兼 経営企画 本部長
竹 居 邦 彦
(TEL 03 - 5436 - 7155)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年7月8日付で公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成27年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,300	1,300	1,500	1,400	98.79
今回修正予想(B)	7,400	1,700	1,900	1,700	119.93
増減額(B-A)	100	400	400	300	
増減率(%)	1.4	30.8	26.7	21.4	
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期)	4,522	332	695	528	37.30

【修正の理由】

当社が属するリチウムイオンバッテリー業界のマクロ環境はEV等車載用途の需要拡大を背景に、リチウムイオン二次電池用セパレータの市況においても上昇局面が続いております。このような環境下、主要顧客からの受注が順調に推移し、利益率の改善を伴って売上が拡大しました。また、第4号ラインは9月から順調に量産に移行しております。

平均為替レートにつきましては、当第3四半期連結累計期間は対1米ドル120.93円となり、下期の当社想定為替レート対米1ドル115.0円に対し約5.93円の円安のため利益が改善しました。また当第3四半期連結累計期間の対1,000韓国ウォン107.7円となり、下期の当社想定為替レート対1,000韓国ウォン110.0円に対し約2.3円の円高のため利益が改善しました。

(第4四半期の見通し)

当社グループの主力事業であるリチウムイオン二次電池用セパレータ事業における経営環境に大きな変化はなく、安定的に推移すると想定しております。

以上の要因から、平成27年7月8日付の公表数値を修正致します。

【業績予想に関する留意事項】

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上